

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ (Teach to Social Work PracticeⅡ)		
ナンバリングコード	E30909	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 応用科目 / 標準レベル 社会福祉
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049503	クラス名	-
担当教員名	橋本 拓、林 孝和		
履修上の注意、履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」、「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。 やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。 講義に対して積極的な態度で臨むことを求めます。		
教科書	監修: 日本福祉大学社会福祉実習教育センター 「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」中央法規出版 2015年3月		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	相談援助の基盤と専門職, 相談援助の理論と方法, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 公的扶助論, 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ、社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ、社会福祉		

○基本情報	
授業の目的	社会福祉を学ぶうえで「社会福祉援助技術現場実習」は重要な位置づけにあります。つまり、「社会福祉学を総体として学ぶため」「すぐれた実践力を身につけた社会福祉専門職員養成のため」に欠かすことのできない科目ということになります。また、皆さんが現場実習での体験を内省し、将来の方向性ないしは自分の適性を見極める重要な場面にもなります。
授業の概要	この講義を通して、現場実習の目的を明確化し、実習施設の選定と学習という実習前の作業と、実習後行う報告書の作成とその評価にかかわる作業を行います。 この講義の狙いは以下の4点を達成することが狙いです。 ①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 ②社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。 ③ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 ④実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリーⅡ: 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	活動に積極的に参加することができる。		10点	10点
【知識・理解】	社会福祉援助技術現場実習の意義について理解している。 相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解している。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応することができる。 実習での学びについて、まとめ報告することができる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。		15点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義終了後のレポート及び実習計画書、実習報告書をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 実習報告会、講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

○その他
必要に応じて、個別指導及び集団指導を行います。また、実習期間中には巡回指導を行います。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ (Teach to Social Work Pr	授業コード	E049503
学修内容				
1. オリエンテーション 社会福祉援助技術現場実習指導の内容及び、社会福祉援助技術実習との関連について 実習計画書を作成する意義と目的について理解する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
2. 実習計画書について 実習計画書を作成する意義と目的について理解する。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
3. 事前学習について 事前学習の意義・目的について学ぶ。実習分野(利用者理解も含む)と施設や地域社会等に関する基本的な事項を理解する。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
4. 事前学習について 事前学習の意義・目的について学ぶ。実習分野(利用者理解も含む)と施設や地域社会等に関する基本的な事項を理解する。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
5. 実習に必要な態度、知識の整理①～SWrの職場の理解～ 実習分野におけるソーシャルワーカー(SWr)の職場について理解する 実習計画書の作成(実習のきっかけ・動機)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
6. 実習に必要な態度、知識の整理②～Swrの働き～ 福祉現場におけるSWrの働きについて理解する 実習計画書の作成(実習施設の情報・特徴)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
7. 実習に必要な態度、知識の整理②～Swrの働き～ 福祉現場におけるSWrの働きについて理解する 実習計画書の作成(実習施設の情報・特徴)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
8. 実習に必要な態度、知識の整理③～施設SWの9つの機能と実習～ 施設SWrに求められる機能について理解する 実習計画書の作成(実習の意義)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ (Teach to Social Work Pr	授業コード	E049503
学修内容				
9. 実習に必要な態度、知識の整理③～施設SWの9つの機能と実習～ 施設SWrに求められる機能について理解する 実習計画書の作成(実習の意義)				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
10. 実習に必要な態度、知識の整理④～SWrの価値・倫理・機能の確認～ 事例から実習において求められる倫理について学ぶ 実習計画書の修正・完成				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
11. 実習で求められる倫理① 事例から実習において求められる倫理について学ぶ 施設への電話のかけ方をロールプレイする。その後実際に施設に連絡をし、事前訪問の appointments をとる。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
12. 実習で求められる倫理② 事例から実習において求められる倫理について学ぶ 実習日誌を書く意義・目的について学ぶ				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
13. 実習で求められる倫理③ 実習中の注意事項について確認する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
14. 実習最終指導 実習の目的・目標及び実習中のマナー等について再確認				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
15. 実習最終確認 実習の目的・目標及び実習中のマナー等について再確認				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
16. 報告会の説明 実習報告会について説明すると同時に、報告書作成に必要な記録類について説明				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ (Teach to Social Work Pr 橋本 拓、林 孝和	授業コード	E049503
学修内容				
17. 実習先各分野による小グループでの報告・検討会① 実習日誌, 実習評価票, 実習自己評価票をもとに, 実習の振り返り及び共有を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
18. 実習先各分野による小グループでの報告・検討会② 実習日誌, 実習評価票, 実習自己評価票をもとに, 実習の振り返り及び共有を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
19. 実習報告書の作成① これまでの実習の振り返りをもとに, 実習報告書を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
20. 実習報告書の作成② これまでの実習の振り返りをもとに, 実習報告書を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
21. 実習報告会の準備③ 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
22. 実習報告会の準備① 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
23. 実習報告会の準備② 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
24. 実習報告会の準備③ 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ (Teach to Social Work Pr 橋本 拓、林 孝和	授業コード	E049503
学修内容				
25. 実習報告会の準備④ 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
26. 実習報告会の準備⑤ 作成した実習報告書をもとに, 報告会で使用するスライドや原稿を作成する 発表要領を説明し, 発表順番, 司会, 相互評価の方法を説明する。				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
27. 実習報告会① 実習報告会において, 実習で学んだ内容等の報告を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
28. 実習報告会② 実習報告会において, 実習で学んだ内容等の報告を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
29. 実習報告会③ 実習報告会において, 実習で学んだ内容等の報告を行う				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
30. 振り返り 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ, 社会福祉援助技術現場実習Ⅱを振り返り, 専門職として実践現場に出るまでに必要な知識, 態度について再考する				
予習	配布資料の確認・整理			約2時間
復習	レポートの提出			約2時間
31.				
予習				
復習				
32.				
予習				
復習				